

# 気づき、考え、実行する さし人つつしん



学校HP

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.20  
令和6年2月2日  
文責：校長 松野克己

## 4年生 2分の1成人式



1月23日(火)に今年度最後の授業参観を行いました。寒さの厳しい時期ではありましたが、今回もたくさんの保護者のみなさんに参観していただきました。「参観」という言葉は「見る」という意味です。でも、授業の中に保護者のみなさんにも入っていただく「授業参加」スタイルが増えており、学習を通して親子がふれあう機会にもなっているようです。

この日の午後、4年生は親子でアルバム作りをし、その後体育館で2分の1成人式を行いました。4年生は生後10年という節目の学年です。10年というのは決して短くありません。この期間、それぞれの家庭にそれぞれのファミリーヒストリーがあるはずですが、親が子育てのために、様々な苦勞を重ねてきたことや心配してきたことを、親が思うほど子供は知りませんし、感じていません。恩着せがましくなってはいけませんが、この10歳という節目が、そういうことを子供に伝える機会になってくれたらと思いますし、子供たちには、親への感謝の念をいじめてもらえればとも思います。

そして、もう一つ。子供たちには自分の未来を思い描き、夢や希望、さらに志をいじめて欲しいとも思います。予測不能とも言われる急激に変化する社会を子供たちは生きていくことになります。その中でくじけない力の源となるのが、親も含めた周りの支えと、自分自身の生き方への信念です。なりたい職業はイメージしやすいのですが、なりたい人間像はなかなかイメージできません。ですから、子供達に伝えたのは「どんな高学年になりたいかを、あと2ヶ月の間にちゃんと考えて、今からできることはすぐに実行して欲しい」ということです。

こういった心のもち様を小学生に伝えるのはたいへん難しいことですが、全校朝会など子供たちに話をする機会には、できるだけ言葉をかみくだいて伝えてきました。もちろん、思うようには伝わらないと分かっていますが、繰り返すことで、少しずつでも心にしみこんでくれたら嬉しく思います。

来年度、再来年度の佐志小を築いていく子供たちにエールを送ります。「夢をもち、志をたて、自分を大切に、他者も大切にして、明るく元気に毎日を過ごしてください！」



## Withコロナ・Withインフル

昨年度まで、コロナの感染拡大は見られましたが、インフルエンザの感染拡大はありませんでした。コロナの一時期な爆発的感染がない一方、この冬はインフルエンザも感染者が増えています。近隣の学校でも学級学年閉鎖が起きています。

本校は学級閉鎖まではいきませんが、それなりの感染は起こっており、連日、30名前後の児童が学校を休んでいます。特徴的なのは、学級学年閉鎖につながるような急激な増加はないのですが、だらだらとコロナとインフルによる欠席者が続いているということです。中には、コロナ感染直後にインフルに感染した子もいます。これはきついでしょう。このだらだら感染は当分続くのかもしれませんが、まさに「Withコロナ・Withインフル」の状況です。



かかってしまうのは仕方ありません。ただ、予防には努めたいものです。毎回お願いするのですが、お子さんの睡眠時間はしっかり確保させてください。それから、コロナ、インフルともに発症日をゼロとして、翌日から5日間は最低出席停止となりますし、発熱や感染症状が続く場合は出席停止がさらに長くなります。この期間をきちんと守っていただきますようお願いします。



# 入賞おめでとう

## 新年書き方会

### 【硬筆の部】

地区特選  
地区入選

4年近藤ようた 5年野崎れんと  
1年野崎うみ 1年牧野ひまり 1年吉田いお 1年藤井おうすけ 1年坂本はるひこ  
2年鶴のぞみ 2年横山ゆう 2年濱田こうき 4年飯田かのん 4年吉岡いづみ  
5年宮崎かほ 5年大石にいな 5年井上めい 5年福島えいきち 5年山口よう  
6年千葉あなか 6年高田なな 6年清水かいゆう 6年山本めい 6年太田このみ

### 【毛筆の部】

※対象3年生以上

地区入選

3年井上すみれ 3年岡本ほのか 3年一宮ゆうま 4年竹原きょうすけ  
4年牧野かほ 6年坂本まひろ 6年瀧浪さや  
6年井上ほのか 6年太田あまね 6年松永りくと

## 新春読書感想文コンクール

地区入選

1年清水かいり 6年濱口りく



## 低学年・えいごであそぼう

今年度も本校の保護者でもある伊藤裕子さんと長松校区にお住まいの吉川ジュデリンさんに来ていただき、低学年の学級で



英語に親しむ授業をしていただきました。パズルや買い物ゲームといった子供たちが喜ぶ活動の中に簡単な英会話を取り入れ、とにかく子供たちが楽しめる活動になっています。

私が参観に行ったとき、1年生は福笑いをしていました。「eye」「nose」といった英語を使う以外は、福笑いそのものですが、まあどのグループも楽しそうでした。また、その後の買い物ゲームで鉛筆をもらった時も笑顔いっぱいでした。2年生はアルファベットを順に並べるパズルを楽しんでいました。外国語というと難しくとらえがちですが、こんなふう



に楽しい出会いをすることで、スムーズに学習に入ることができます。毎年、進んでこの「えいごであそぼう」をしてくださるお二人には感謝感謝です。

## 入学説明会

2月1日(木)に来年度の新生保護者の方に入学説明会を行いました。入学式のことや、準備しておいていただきたい学用品、提出物、徴収金、通学路、入学までにお子さんに教えておいていただきたいことなどを説明いたしました。特に初めてお子さんを入学させる保護者の方は、情報量が多かったので、整理するのがたいへんだったであろうと思います。

冒頭、私から学校の概要を簡単にお話しましたが、どうしても触れなければならなかったのが新1年生の学級編成です。少子化や利便性の高い地域への集中化で、残念ながら佐志小の児童数は毎年減っています。この10年で3分の1の児童数が減少しました。それでも1年前までは1クラス20人前後の2学級編成で、他校からうらやましがられるような恵まれた状況でしたが、今年度はついに1年生が1学年1学級となってしまいました。そして、来年度の入学予定も現在35人ですから1学級ということになります。法によって35人以下は1学級と定められています。これはどうしようもありません。無理矢理2学級にしても担任がつかまいませんから意味がありません。3月末までにあと1名増えれば2学級になるのですが・・・。「新1年生のお子さんがいて、入学先の学校に迷っているというお知り合いの方がいたら、ぜひに佐志小に入学するよう説得してください。」という変なお願いまでしてしまいました。でも、それだけなんとかならないものかという切実な問題です。

